

令和5年度 愛媛県中学校総合体育大会
監督会議資料（1日目 団体戦）

愛媛県中学校体育連盟バドミントン専門部

1 団体戦参加チーム

郡市	男子	女子
四国中央	土居 新宮	新宮 土居
新居浜	中萩 川東 東 角野	中萩 川東 船木 東
西条	西条北 西条西	西条北
松山	東 津田 久谷	久谷 道後 南 鴨川
伊予	砥部	砥部 松前
東温・上浮穴	久万 川内	久万 川内
クラブ	新居浜スマッシュ	ZEST PEEPS

2 日程について

※ 会場準備の進捗により、変更することがあり得ます。会場での放送に従ってください。

- (1) 8:00～ 開場
監督は2階フロアの大会本部で公式練習の受付を行う。
3階観客席は郡市別に座席を指定している。自席から観戦すること。
前年度優勝及び準優勝チームは旗または杯を本部に返還する。
- (2) 8:20～ 公式練習（団体戦登録選手のみ）
放送でチーム別のコート番号及び練習開始時刻を指示する。練習は10分間。
チームの監督や保護者は練習に参加しない。
- (3) 8:30～ 監督会議（団体選手出場する全てのチームの監督が参集する。）
体育館2階自動販売機付近で行う。
- (4) 9:00～ 諸注意伝達
選手は3階観客席で諸注意を聞く。
- (5) 諸注意終了5分後～ 1回戦コール開始
- (6) 全日程終了後～ 結果発表&表彰

3 競技上の注意事項

組み合わせやタイムテーブル等の必要な資料は事前にHPから印刷する。会場では配布しない。

- (1) 当該年度（公財）日本バドミントン協会競技規則及び同大会運営規定並びに同公認審判員規定に則って大会を実施する。
- (2) 全てのマッチを21点3ゲームで実施（延長は2点先取もしくは30点先取で勝利）する。
- (3) YONEXエアロセンサー700の室温に適した番号のシャトルを使用する。
- (4) コート番号は本部から見て右側手前より1～6、右側奥より7～12コートとする。
- (5) 団体戦を次のとおりに実施する。

試合の進行について

- ・ 試合は番号順に行う。原則1面で行うが、進行が遅れる場合、2面に展開することがある。準決勝以降は2面展開で行う。進行状況によってコートを変更することがあり得る。
- ・ タイムテーブルは予定であり、開始時刻やコートの変更が起こり得る。放送をよく聞くこと。試合が連続する場合は10分程度の休憩を空けることがある。
- ・ 団体戦の試合開始前にオーダー用紙を本部に提出すること。1回戦は監督会議後、2回戦以降は、試合終了後速やかにオーダーを提出する。試合中でも勝敗が決した時点で提出を要請することがある。
- ・ トーナメントの上側チームが本部側のコート位置取る。
- ・ どちらかのチームが初回戦となる場合、全てのマッチを行う。以降、勝敗が決した時点で試合を打ち切る。
- ・ 試合中の汗拭きや給水は、試合を中断しないように心掛け、必ず主審の許可を得て行う。
- ・ すべてのゲーム中に、一方のサイドのスコアが11点になったとき、60秒を超えないイ

インターバルをとることができる。また、第1ゲーム及び第2ゲーム、第2ゲームとファイナルゲームの間に120秒を超えないインターバルをとることができる。選手の元に行くことができるのは最大2名までとし、残り20秒になればベンチ、アドバイザー席に戻る。

- ・ 足の痙攣などが生じたときは、1分間程度の時間において監督と選手が相談し、継続又は棄権を判断すること。なお、選手に監督・コーチ又はマネージャーが触れてはならない。
- ・ 競技時の服装は現行（公財）日本バドミントン協会審査合格品とする。上着の背面中央部には、縦20cm・横30cmの範囲内に、チーム名及び姓の表示をする。同姓の場合は、名の1文字目を入れる。上衣は下衣に入れること。~~試合途中で上衣が出た場合は、インターバル中などに直すこと。試合前後の整列や挨拶の時及び表彰の際には上衣を下衣に入れる。~~
- ・ 試合終了後は勝者チームがサインをして本部にスコアシートを持参する。

審判について

- ・ 試合の敗者チームが次の試合の審判を務める。敗者チームは勝者チームからスコアシートを受け取ること。なお、本部が1回戦の審判を指定する。
- ・ 審判が試合開始の号令と終了の号令を掛け、スムーズに進行する。
- ・ 教員や外部指導者、部活動指導員が審判を務めない。
- ・ 審判が足りない場合は本部に報告する。
- ・ 審判に対する抗議を認めない。それと同様の行動も慎むこと。ただし、質問は認める。団体戦では、当該選手又は監督が主審に質問する。判定に服さない場合は、その試合を放棄するものとみなす場合がある。
- ・ 次のような行為をフォルトとする。
 - a 試合中、審判に無断でコートを離れる。
 - b サービスを故意に遅らせる。
 - c レシーバーが故意に構えを遅らせる。
 - d 相手を威嚇したり、ネットをラケットでたたくなどしたりする、品行を損なう行為。
 - e 体力や息切れの回復狙い、あるいはサイドコーチを受けるためにプレイを中断する。
- ・ 中学生が審判を務めるが、万一困った状況が発生した場合、手を高く上げて本部に知らせるように注意喚起する。

4 コーチ座席（アドバイザー席）について

- (1) 団体戦では、次の者がコーチ席に座ることができる。

監督、コーチ、登録してあるマネージャー、選手 ※ただし、県新人申込用紙に記載した者

- (2) コーチ席に座る者は、各チームで作成したIDカードを見える位置に必ず着用する。外部指導者は、IDカードの代わりにコーチ証を着用する。着用していなければ、体育館のフロアに降りることを認めない。IDカードには「氏名」、「監督」などの身分、「所属チーム名」を記載する。
- (3) 監督及びコーチの服装は、上衣は襟付きのシャツ、ポロシャツまたはバドミントンウェアに準ずるものとし、Tシャツ等は認めない。また、下衣は長ズボン（ジーンズは不可）、スカートを着用する。履物はシューズとする。サンダルやスリッパ等での入場は認めない。

5 会場の利用

- (1) 水容器は倒してもこぼれないものを使用すること。また、水滴（結露）が床につかないように工夫する。（水筒やペットボトルホルダー等の使用）ペットボトルのまま、直接持ち込むことを禁止する。
- (2) 応援は、拍手（手拍子等リズムを取ることも含む）並びに声援による。リズムを合わせる場合は、まとまりのあるものにする。鳴り物や脚を踏み鳴らす行為等の応援は認めない。団扇を叩くのは不可とする。
- (3) 館内のごみ箱には、館内の自販機で買った物のごみのみを捨てる。
- (4) フロア以外での羽やラケットを使った練習を禁止する。
- (5) フロアでの携帯電話やタブレットなどの電子端末の使用を禁止する。
- (6) 荷物及び貴重品を、各チーム、各自が管理すること。
- (7) 会場内で中学生の電子機器（スマートフォンやタブレットなど）の使用を禁止する。

令和5年度 愛媛県中学校総合体育大会
監督会議資料（2日目 個人戦）

愛媛県中学校体育連盟バドミントン専門部

1 個人戦参加チーム一覧

郡市	男子	女子
四国中央	土居	土居 新宮
新居浜	中萩 川東 東 大生院 角野 新居浜スマッシュ	中萩 川東 船木 東 北 PEEPS ZEST
西条	西条北 西条西	西条北 GranZ BC
今治・越智	今治西	桜井 ZEST 今治吹揚 JBS
松山	久谷 津田 東 鴨川 松山北	久谷 道後 津田 東 南 鴨川
伊予	砥部	砥部 松前
東温・上浮穴	川内 久万	川内 重信 美川 久万 川内 JBC
宇和島・北宇和		広見
西予	宇和 JBC	宇和 JBC

2 日程について

※ 会場準備の進捗により、変更することがあり得る。会場での放送に従ってください。

- (1) 8:00～ 開場
3階観客席は郡市別に座席を指定している。自席から観戦すること。
- (2) 8:20～ 公式練習（個人戦登録選手のみ）
放送で練習時間を指示する。
東予男→東予女→中南予男→中南予女の順に10分間ずつ行う。
- (3) 8:30～ 監督会議
体育館2階自動販売機付近で行う。
- (4) 9:00～ 諸注意伝達
選手は3階観客席で諸注意を聞く。
- (5) 諸注意終了5分後～ 1回戦コール開始
- (6) 全日程終了後～ 結果発表&表彰
- (7) 表彰終了後 冬季四国練習会及びトップレベル事業遠征事業について対象選手説明する。ベスト4に進出した選手は選考される可能性があるため、監督及び保護者、選手が会場に残っておいてもらえると助かります。

3 進行について

組合わせやタイムテーブル等の必要な資料は事前にHPから印刷する。会場では配布しない。

- (1) 当該年度（公財）日本バドミントン協会競技規則及び同大会運営規定並びに同公認審判員規定に則って、大会を実施する。
- (2) 全てのマッチを21点3ゲームで実施（延長ゲームは2点先取もしくは30点先取で勝利）する。
- (3) YONEXエアロセンサー700の室温に適した番号のシャトルを使用する。
- (4) コート番号は本部から見て右側手前より1～6、右側奥より7～12コートとする。
- (5) 個人戦を次のとおりに実施する。

試合の進行について

- ・ 試合番号順に放送で対戦者とコートを示す。
- ・ コールを聞き逃さないように注意する。コールされたら、直ちにコートへ入ること。
- ・ 選手は線審を1名連れて試合に参加する。不足している場合は本部に申し出る。
- ・ 試合中の汗拭きや給水は、試合を中断しないように心掛け、主審の許可を得て行う。
- ・ 選手が自身に割り当てられたコートで試合開始直前に練習することを認めない。

- すべてのゲーム中に、一方のサイドのスコアが11点になったとき、60秒を超えないインターバルをとることができる。また、第1ゲーム及び第2ゲーム、第2ゲームとファイナルゲームの間に120秒を超えないインターバルをとることができる。選手の元に行くことができるのは最大2名までとし、残り20秒になればベンチ、アドバイザー席に戻る。
- 足の痙攣などが生じたときは、1分間程度の時間において監督と選手が相談し、継続又は棄権を判断すること。なお、選手に監督・コーチ又はマネージャーが触れてはならない。
- 競技時の服装は、現行（公財）日本バドミントン協会審査合格品とする。上着の背面中央部には、縦20cm・横30cmの範囲内に、チーム名及び姓の表示をする。同姓の場合は、名の1文字目を入れる。上衣は下衣に入れること。試合途中で上衣が出た場合は、インターバル中などに直すこと。試合前後の整列や挨拶の時及び表彰の際には上衣を下衣に入れる。
- 試合終了後、勝者がスコアシートに勝者サインをして、本部に提出する。
- 試合が連続する場合は、10分程度時間を空けることがある。

審判について

- 試合の敗者チームが次の試合の審判を務める。敗者チームは勝者チームからスコアシートを受け取る。なお、本部が1回戦の審判を指定する。
- 審判が試合開始の号令と終了の号令を掛け、スムーズに進行する。
- 教員や外部指導者、部活動指導員が審判を務めない。
- 審判が足りない場合は、本部に声を掛ける。
- 審判に対する抗議を認めない。それと同様の行動も慎むこと。ただし、質問は認める。団体戦では、当該選手又は監督が主審に質問する。判定に服さない場合は、その試合を放棄するものとみなす場合がある。
- 次のような行為をフォルトとする。
 - 試合中、審判に無断でコートを離れる。
 - サービスを故意に遅らせる。
 - レシーバーが故意に構えを遅らせる。
 - 相手を威嚇したり、ネットをラケットでたたくなどしたりする、品行を損なう行為。
 - 体力や息切れの回復狙い、あるいはサイドコーチを受けるためにプレイを中断する。

4 コーチ座席（アドバイザー席）について

今年度は、コート毎にコーチ席を2席設置する。

- 個人戦では、次の者がコーチ席に座ることができる。
監督、団体戦に登録してあるコーチ・マネージャー、選手（団体戦との重複出場の場合）
- コーチ席に座る者は、受付で配布したIDカードを見える位置に必ず着用する。外部指導者は、IDカードの代わりにコーチ証を着用する。着用していなければ、体育館のフロアに降りることを認めない。
- 監督及びコーチの服装は、上衣は襟付きのシャツ、ポロシャツまたはバドミントンウェアに準ずるものとし、Tシャツ等は認めない。また、下衣は長ズボン（ジーンズは不可）、スカートを着用してください。履物はシューズとする。サンダルやスリッパ等での入場は認めない。

5 会場の利用

- 水容器は倒してもこぼれないものを使用すること。また、水滴（結露）が床につかないように工夫する。（水筒やペットボトルホルダー等の使用）ペットボトルのまま、直接持ち込むことを禁止する。
- 応援は、拍手（手拍子等リズムを取ることも含む）並びに声援による。リズムを合わせる場合は、まとまりのあるものにする。鳴り物や足を踏み鳴らす行為等の応援は認めない。団扇を叩くのは不可とする。
- 館内のごみ箱には、館内の自販機で買った物のごみのみを捨てる。
- フロア以外での羽やラケットを使った練習を禁止する。
- フロアでの携帯電話やタブレットなどの電子端末の使用を禁止する。
- 荷物及び貴重品を、各チーム、各自が管理すること。
- 会場内で中学生の電子機器（スマートフォンやタブレットなど）の使用を禁止する。